

News Release

JR西日本イノベーションズ

2023年12月1日

株式会社JR西日本イノベーションズ

「JR 西日本グループイノベーション&チャレンジデイ 2023」にて、JR 西日本グループとスタートアップ企業をつなぐ課題先行型ピッチイベント（リバーспitch）を開催します。

西日本旅客鉄道株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：長谷川 一明）主催の「JR 西日本グループ イノベーション&チャレンジ デイ 2023」において、株式会社 JR 西日本イノベーションズ（本社：大阪市、代表取締役社長：川本 亮）が、課題先行型マッチングイベントを開催します。

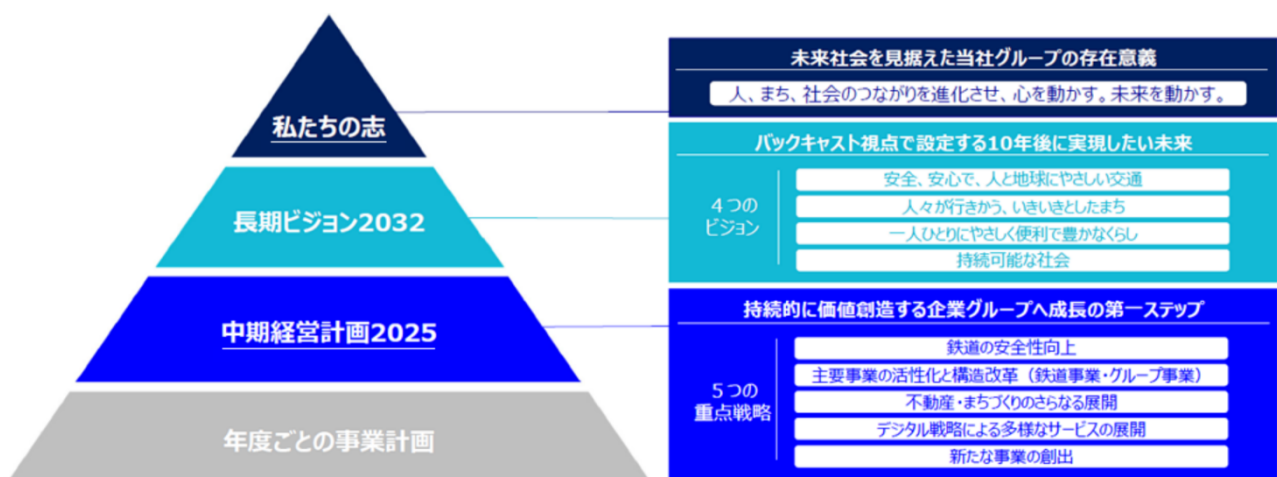
「JR 西日本グループ イノベーション&チャレンジ デイ 2023」WEBサイト

(<https://www.jrw-inv.co.jp/business/icd/>)

JR 西日本グループが抱える課題を提示し、スタートアップ企業から解決策を募り、協業を推進するマッチングイベントです。

初開催となる今回は、鉄道の運行やメンテナンス、物流に関する課題に対する解決策を募集いたします。

「JR 西日本グループ中期経営計画 2025」「長期ビジョン 2032」の実現に向け、本イベントの開催などを通じ、スタートアップ企業との協業を加速してまいります。



JR西日本グループ 長期ビジョン2032 中期経営計画2025

▼「課題」は以下の通りです。（状況によって内容が変更される可能性があります）

運輸部

列車ダイヤの作成、信号設備配置計画の策定、運行管理システムの開発・管理、乗務員・指令員に対する教育、ヒューマンエラー防止対策の実施などの業務を行っています。

【IT 活用による鉄道運輸業務の最適化】

○回送列車内のお客様の残留検知

- ・解決したい課題：車庫へ列車を回送する際、車掌が車内の巡回により確認している残留するお客様の有無をカメラやセンサーなどの技術で自動検知したい

○ホーム上のお客様と列車の衝突防止

- ・解決したい課題：ホーム上のお客様と列車が衝突する事故などを防ぐための物体検知・ヒト検知による事故防止、ホーム上の旅客接近検知 等

施設部

線路・トンネル・橋梁などの土木構造物・建築物・駅内の機械設備といった鉄道基盤のメンテナンス業務を行っています。

【IT 活用による鉄道現場業務の効率化】

○「レールの異常を管理する業務の効率化」

- ・探傷車：レールに発生した傷によるレール折損を防止するため、超音波を用いたレール探傷検査を行える大型の作業車
- ・ミニ探査機：探傷車で異常を検知した現地において、レールを挟み込む形の機器を手動で動かし、音波を当て詳細なデータを取得
- ・解決したい課題：探傷車から抽出されたデータから異常を検出し、そのレベル分けを自動判定したい。手動で動かしているミニ探査機をレール上で自動で移動させたい

株式会社ジェイアール西日本マルニックス

J R 西日本グループ唯一の物流会社として鉄道資材の保管・配送、駅ビル商業施設の館内物流、主要駅でのお客様手荷物一時預かりなどの物流事業を行っています。

物流における配送や保管にかかわる稼働・予約状況を見える化し業務を効率的に行う技術

【物流 DX による業務効率化】

- ・解決したい課題：物流センターにおける荷物の保管・入出庫などの状況を見える化し、システム等の導入により業務の効率化を図りたい
- ・解決したい課題：駅での手荷物の一時預かりや駅～ホテル間の手荷物配送サービスなどの稼働状況を見える化し、予約業務などをシステム導入により効率的の効率化を図りたい

▼リバーСПitchの概要

開催日：2023 年 12 月 12 日（火）

時 間：14:30～16:30

場 所：グランフロント大阪北館 B2F コングレコンベンションセンター

対 象：上記課題に関連する技術・ソリューションを有するスタートアップ

申 込：記載の URL より <https://miceform.jp/icd2023/application/>

主 催：株式会社 JR 西日本イノベーションズ

▼協業までの流れ

①～12 月末応募

②～1 月末：スタートアップからのご提案（Pitch）

③2 月～：マッチングの検討（JR 西日本イノベーションズ）

④3 月～：PoC 実施、効果検証

※状況により、スケジュールは多少前後する可能性があります